

評論家の河北倫明氏が大変瓊州を誉めています。この話を聞いた新潟県の敦井美術館が50点まとめ買いをしています。その撥ねた物が市場に出回っていますが、まだ安いですが、この人はいずれは高くなる文人画家だと思います。私達はよく会議等で饒心亭 おゝ乃さんにいきますが、小美術館と言われるほどの、多種多様の人の絵が飾られています。その中でも最も、大野さん自身「家の宝にしておきたい」と言われる絵があります。狩野派の流れをくむ児玉希望の絵です。幅装は元禄時代の物だと思いますが、児玉希望は川合玉堂の弟子でその師匠は橋本雅邦です。悲母観音を描いて国の重要文化財になっています。絵だけではなくて表具も素晴らしい人です。西陣織をその絵のために織り込んだという表具です。今度行かれたときはよくご覧になって下さい。とりとめの話になってしまいましたが、又機会がありましたら続きを話させて頂きます。有り難うございました。

第10回理事会

- 開催日時 平成15年4月1日(火) 11:30~12:30
 開催場所 三条ロイヤルホテル
 出席者 梨木 五十嵐(茂) 山本 落合 石川(勝) 佐藤(弘) 木宮 佐藤(義) 山中 外山 早川 石川(友) 佐藤(啓) 出席者13/14(内委任状1)
- 協議事項
1. 同伴パーティー企画案 承認
6/4(水)午後7時から
 2. 例会日・行事変更の件 承認
6/3(火)を4日(水)に例会日変更
6/10 家庭会合報告会
6/17 クラブフォーラム(次年度)
 3. 社会奉仕事業の件 承認
5/13(火)12:30~13:30裏館小学校中庭にて植樹
昼食は学校給食を食べる。雨天決行
 4. ポリオ寄付依頼の件 承認
会員1人50\$の要請のうち会員より3,000円集金
残額は一般会計より支出
 5. 次年度委員会組織変更の件 承認
米山奨学副委員長に神田敬宏会員
インターネットコミュニケーション委員会は設置しない
 6. 新入会員候補の件 承認
- 4月8日例会: 卓話「百名山、思い出の北海道幌尻岳」久保さんと登らん会 会長久保富彦様
 4月15日例会: 卓話「登って、旅して」久保さんと登らん会 幹事坂爪幸穂様
 4月22日例会: 夜例会 18:30~三条ロイヤルホテル
 4月29日例会: 休会(みどりの日)
 5月6日例会: 卓話



三条北ロータリークラブ週報

慈愛の種を播きましょう

例会日
2003. 4. 1
累計 No 796
当年 No 37

国際ロータリー会長 ビチャイ・ラタクル 第2560地区ガバナー 佐野 孝
ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560sano/>

会長/梨木 建夫
幹事/五十嵐 茂
SAA/佐藤 弘志

例会日/火曜日 12:30~13:30
 例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
 事務局/三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内
 ☎35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行事: ロータリー雑誌月間 卓話「日本画家達とよもやま話」齊藤興一会員

出席: 本日の出席 60名中 42名

先々週の出席率 59名中 49名 83.05%(前年同期72.46%)

ビジター: 三条南RCより 蕪澤喜一郎さん

会長挨拶: 梨木 建夫



いよいよオプロ野球も開幕を致しましたが、それに先だって開幕2日前の3月26日(水)に東京プリンスホテルで「読売巨人軍激励・交歓の宴」が開催されました。夕方6時開宴ということで新幹線に乗って行って参りました。食品関係の某スポンサー企業主催ということで招待券がひよんな事から手に入りまして、このような時期に少し不謹慎かなとも思いましたが、妙齢のご婦人をエスコートして行って参りました。そのご婦人は私の家内も公認ですのご心配は無用ですが私自身いい年をして結構「ミーハー」的な所があるものですから、とりあえずカメラと色紙を沢山用意致しまして心ウキウキ行きました。会場はビップさんの大広間よりかなり広いくらいの2階の「鳳凰の間」という所で立食形式で行われましたが、1000人~1500人くらいの入場者だったのではないかと思います。私達は飲み食いとは全く出来ず、選手や監督コーチとの写真撮影と色紙へのサインで2時間はアッという間に過ぎました。一応各テーブルが用意されていました選手、コーチ、監督が必ず一人入ってその席が指定席ということになっていましたが、私達の席はC-1という席で二岡選手が同席でした。隣が原監督の席で、その隣が高橋由伸選手の席でした。又ステージが目の前ではほぼ中央の席でしたので最高でした。

巨人軍は長嶋前監督が抜け、松井選手が大リーグに行き、又清原選手、ペタジーニ選手は開幕まで温存しておこうという配慮からでしょうか、当日は欠席でした。原監督以下、吉村コーチ篠塚コーチ、鹿取、斉藤投手コーチ、高橋由伸選手、上原投手、ベテラン桑田投手、ストッパー河原、阿

部キャッチャーあと二岡、前田、斉藤、後藤、元木、岡島、ベテラン河合、新人の木佐貫等々。総合司会には吉田慎一郎アナウンサー、OBの中畑、女優の水野真紀、等々、錚々たるメンバーでした。殆どの人と一緒にスナップ写真とサインを頂いて来ましたが本日は4月1日エイプリルフールという事でウソをついているのではと疑われると悪いのでその証明の為に写真を持ってきましたので、よかったらご覧になって下さい。又、私はいよいよ4月2日を持って還暦となりますので、その前に良い思い出作りが出来たと喜んでおります。

幹事報告： 五十嵐幹事

- ・三条RCより 市内3RC会長幹事会のご案内

日時 平成15年4月18日（金）18：30～

会場 松木屋

- ・三条南RCより 市内5クラブ現、次年度会長幹事会のご案内

日時 平成15年5月12日（月）午後6時30分

会場 松木屋

- ・佐野ガバナー、原ガバナーエレクトより 2003-04年度地区協議会のご案内

日時 2003年5月24日（土）9：30～

会場 ホテルニューオオタニ長岡

会長、幹事、会員増強、クラブ奉仕（A）職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕
新世代奉仕、R財団、米山奨学の各委員長は義務出席となっております

- ・三条リパティライオンズクラブより 認証状伝達式ご臨席のお願い

日時 2003年5月21日（水）16：30～

会場 VIPグランドホール

委員会報告： 社会奉仕委員会

社会奉仕事業「裏館小学校に森を造る」為の植樹を5/13（火）例会時間に行います。

詳細は後日お知らせしますが、会場は裏館小学校中庭で雨天決行

昼食は子供達と同じ学校給食を食べます

ニコニコボックス： 1日現在累計 928,100円

梨木建夫君 本日入会の星野さん、ようこそおいでいただきました。誠にありがとうございました。どうぞ末永くよろしくお願い申し上げます。

五十嵐茂君 ”

佐藤啓策君 ”

中條耕二君 孫が中学1年生となりました。自分の年令は忘れ、孫のことだけが気になります。

す。選挙資金を稼いだようです。旭日静波の絵は波に旭ですが、掛け軸は大体中心にお日様があり下に波が描かれています。竹坡があると聞いて、見に行きますと殆どが、選挙資金稼ぎの為に描いた、弟子の絵が主流をなしています。こうしたことから、絵の値段も段々下がり、結局東京を引き払って越後に戻ってきました。新潟県からもなかなか立派な画家も出ています。上越からは小林古径、佐渡からは土田麦僊が出ています。麦僊はどちらかというと竹内栖鳳の弟子ですので京都画壇の人です。いずれも当時の日本を代表するような作家です。その中で今一人素晴らしい人が戦後、吉田町から横山操が出ています。横山操は東京へ出て絵描きとなっておりましたが、満州へ兵隊として行っておりましたが、大東亜戦争に負けてシベリアへ3年ほど抑留され、東京に戻ってから再び、日本画を発表しました。横山さんは東京画壇の川端龍子の弟子です。清龍社という学校に入学し、毎年々、最高の賞を取るために嫉妬され、清龍社を辞め無所属となり活動していました。たまたま加山又造の個展を見に行き、本人の前で眨してきました。加山又造は奮起し、横山の個展に行き同じ事をしようとしたのですが、作品の前では声が出ずにつばを飲みました。横山操は戦後の日本画を変えた最初の人です。それまでの日本画は下絵を描いて、絹を載せて一挙に書き上げると言う手法でした。横山操は岩絵の具を使って、失敗したら上に絵の具を置いて重ね塗りをしました。その為作品も凄く大きかった。横山と加山はその場で無二の親友となります。横山操は早く亡くなりましたが、今でも鑑定に出ると、加山又造の目を通して、真偽の判定をして本物であれば、奥様が鑑定を書くそうです。平山郁夫も同じ技法を勉強し、三羽鳥といわれた横山操、加山又造、平山郁夫の中に友情が生まれました。加山又造も平山郁夫も絵は今は大変高く、又横山操の絵ももの凄く高くなっています。2人が生存して頑張っているの、それにおされて横山も高いのです。本画の場合は市場に出回ると殆ど美術館が買い上げます。その位、貴重なものです。今柏崎で美術館の建築が言われています。平松玲二は横山操を師事し、勉強しつくした人です。横山操の最も有名な「越路十景」といって新潟県いちえんを10枚の絵に纏めた物です。大きさは60号位です。横山が写生したと思われるところへ平松は出向き自分なりの絵を描いています。絵描きになる事は、先ず親が反対します。平松もやはり反対され、学校へは行っていないと思います。花をモチーフにした今までに見たこと無いような絵を描かれています。もし美術館ができれば平松玲二の代表作品が並ぶと思います。どうしてもお話ししたい人が1人います。富岡鉄斎と言う人をご存じだと思いますが、京都の神主で大変な博学で自分自身、博士の上だと言われたほどの人です。最も中国古典を勉強しました。鉄斎には師匠もいない、書道の師匠もいません。自分自身が好んで中国古典の中から連想した絵を描いた物が傑作となっています。鉄斎に師事した文人家は沢山居ますがお話ししたいのは楠瓊州です。この人は大変、変わっている人です。本人から見れば私共が変わっているのかも知れません。自分の意志は絶対曲げない。日本一貧乏を体験した絵描きではないかという本も出ています。瓊州は友達も居ないし、近所づきあいも一切しないでひたすら絵を描き続けて昭和32年3月、64歳で亡くなっています。だれ一人身よりなく、あばら家でセンペイ布団にくるまったまま、近所の人にも気づかぬ内に冷たくなっていた。唯一の知人とも言うべき人が跡始末家に当たり残った物を値踏みさせたところ1200円しかなかった。他にはおびただしい作品だけが残っていた。当時の一流芸術